

令和8年度秋季特別展

太閤の世を生き抜いて — 織田と京極・国替の軌跡 —

歴史の面影を残す柏原の城下町で、その中心にたたずむ、国指定史跡の柏原藩陣屋跡。この柏原藩を治めたのは、織田信長の次男、織田信雄を藩祖とする織田家でした。

国替と織田家

織田家が柏原へやって来た背景には、「国替」という歴史があります。

国替とは、幕府が大名に領地の移動を命じる制度のことです。大名にとって突然の「転勤」「引っ越し」ともいえるこの国替は、家臣団ごとの大移動となるため、領地経営や藩政、人々の暮らしに大きな影響を及ぼしました。

織田家が幕府に命じられ、柏原藩に移ったのは元禄8年（1695年）、大和国宇陀郡（現在の奈良県宇陀市）にあった松山藩からの国替でした。

同じ経験をした京極家

そして、織田家とともに紹介するのは、織田家とともに1600年代に国替を行った丸亀藩主の京極家です。関ヶ原の合戦の前哨戦である「大津城の合戦」で奮戦し、徳川家康ら東軍の勝

利に大きく貢献した京極高次と、息子忠高を藩祖とする彼らも同じく国替によって、出雲国松江藩（現在の島根県松江市）から播磨国龍野藩（現在の兵庫県たつの市）、そして讃岐国丸亀藩（現在の香川県丸亀市）へと領地が移り変わっています。

なぜ幕府は両家に国替を命じたのでしょうか。秋季特別展では、丹波市に伝わる織田家ゆかりの伝来品と、各資料館所蔵の京極家の伝来品や歴史資料を通じて、国替の歴史的背景と、両家が歩んだ軌跡に迫ります。

豊臣兄弟と藩祖たち

本特別展では、江戸時代以前の豊臣秀吉とその弟である秀長が活躍した時代にも焦点を当てます。信長亡き後、天下統一を目指した、現在放送中のNHK大河ドラマでも有名な「豊臣兄弟！」を前に、それぞれの藩祖である織田信雄と京極高次・忠高は、如何にして激動の時代を生き抜いたのか歴史の大きな流れの裏で交差した思惑や戦略に迫ります。



柏原藩陣屋跡（復元イメージ）

織田信雄像（丹波市教育委員会蔵）



京極忠高像（丸亀市立資料館蔵）



国、
替わっ展。



京極高次像（丸亀市立資料館蔵）

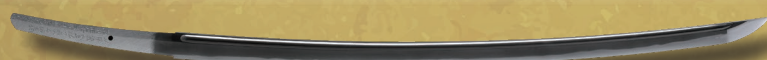


展示資料



さぬきのくにえ ず
讃岐国絵図 (丸亀市立資料館蔵)

讃岐国(現在の香川県)の全景を描いた絵図。各地名や村の名前の他、丸亀藩の居城・丸亀城なども描かれている。



あおえ
ニッカリ青江(復元刀) (丸亀市立資料館蔵)

丸亀藩京極家に伝わる伝来品で、慶長19年(1614年)の大坂冬の陣で京極忠高が豊臣秀頼から拝領したもの。ある武士が「にっかり」と笑う女性の霊を切り捨て、翌朝確認すると石塔が真っ二つになっていたという伝承が名前の由来。



あまぐになぎなた
天国長刀 (柏原歴史民俗資料館蔵)

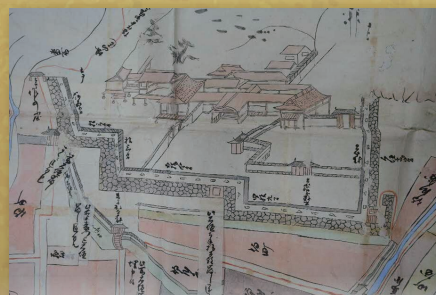
柏原藩織田家に伝わる信長の伝来品で、安土城で家康が信長に贈った長刀。天大山鐐という鏝も同じように伝来品として伝わっている。

てんだいさんつば
天大山鐐 (柏原歴史民俗資料館蔵)



あづちこじょうず
安土古城図 (柏原歴史民俗資料館蔵)

安土城の全容を示す最古の地図。落城後約100年を経過した貞享4年(1687年)に描かれたもの。築城当時の姿ではなく、描かれた貞享4年当時の現況と、伝承の情報を加えて描かれたとされる。



ばんしゅうたつのじょうず
播州立野城図 (たつの市立龍野歴史文化資料館蔵)

京極氏が龍野藩を治めていたころの龍野城を描いた絵図。龍野城を描いた最古の絵図でもあり、櫓などが建てられていなかったことが分かる。

関連イベント

🕒 10月10日(土)
担当学芸員によるギャラリートーク
🕒 13時30分～14時30分
📍 柏原歴史民俗資料館・柏原陣屋跡展示室
💰 無料(申込不要) ※別途入館料が必要

🕒 11月14日(土)
秋季特別展関連歴史講座
『国替えと陣屋を構えた大名たち
一織田と京極を中心に』
🕒 13時30分～15時
📍 柏原自治会館
🗣️ 曾根泰斗(丹波市教育委員会学芸員)
👤 50人程度
💰 無料(申込不要)

数量
限定 **特別展オリジナルアイテム**

📄 手元に残したくなる!
📄 活版印刷で仕上げた特別入場券

📄 丹波市観光アンバサダーからのメッセージ付
📄 オリジナルチケットホルダー

※入手条件あり 詳細はホームページを確認ください。

ミニ企画展

秀吉の時代を生き延びた 丹波の赤鬼の子孫たち

丹波の赤鬼と呼ばれた黒井城主・荻野直正の子孫たちについてのミニ企画展を同時開催します。

📍 春日歴史民俗資料館

※会期、休館日、入館料は柏原歴史民俗資料館と同じ。

10月3日(土)～11月29日(日) 柏原歴史民俗資料館・柏原藩陣屋跡展示室

【開館時間】10時～17時(最終入館16時30分)

【入館料】大人210円(150円)、中学生100円(70円)、小学生50円(30円) ()は団体料金、ココロカード提示で無料

【主催】丹波市教育委員会、丹波市

【後援】朝日新聞神戸総局、NHK神戸放送局、株式会社東京ニュース通信社、株式会社ワタナベエンターテインメント、神戸新聞社、丹波新聞社、毎日新聞神戸支局、読売新聞豊岡支局、ラジオ関西

【協力】春岳院、常高寺、たつの市立龍野歴史文化資料館、植野記念美術館、天童市教育委員会、丸亀市立資料館

【問合せ先】社会教育・文化財課(山南庁舎内) ☎ 70-0819

